

平成20年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：オオムギ網斑病（No.1）

平成20年12月15日

鳥取県病害虫防除所

1 発生状況

12月11日現在、現地での発生ほ場率は27.3%（平年：17.8%）で、ほぼ平年並である。発生は種子伝染株のみに限られ、発生ほ場における発病茎率は0.06%で低い状況にある。

2 今後の予想

例年、気温の低下とともに本病の病勢進展は緩慢となる。気象予報によると、向こう1か月の気温は平年並又は低い確率とも40%、また、降水量は平年並の確率40%と予想されていることから、当面、急激な病勢進展はないものと予想される。

3 防除上注意すべき事項

通常年であれば、出穂期～穂揃期が防除適期となる。

表 オオムギ網斑病の発生状況

調査時期	本年	
	発生ほ場率（%）	発病茎率（%）
12月11日 （平年値）	27.3 （17.8）	0.06

調査地点：鳥取市気高町、岩美町、倉吉市、北栄町

平年値：H10～19の平均値